

## 5 適期刈取りで青米・胴割米の発生防止

- 気温の推移が平年並みの場合は、積算温度1000～1050℃、籾黄化率85～90%で刈取り
- 高温年の場合は、積算温度950℃、籾黄化率80%で刈り始め



## 6 適切な乾燥調製

- 玄米水分14.5～15.0%の徹底
- 1.9mmふるい目の使用で選別を徹底
- 施設や設備の点検・清掃を徹底して、異品種・異物の混入を防止



### 安全・安心な米づくり

- 消費者に選ばれる富山米を安全に生産するため、「とやまGAP」に取り組みましょう。

『とやまGAP(ギャップ)』とは  
富山県では、富山県適正農業規範に基づく適正な農業生産活動の実践を「とやまGAP」と称し、その取組みを推進しています。  
まずは、「とやまGAP事故点検シート」を活用して自らの農場における不適切な行為や状態である「BAP(バップ)」がないか点検し、それらの改善に努めましょう。



項目	点検結果	対応
1: 『稲穂の粒数・百粒等に備る記録の作成』 <安全> 重要 全ての稲穂やワス等の取扱いについて、管理記録等を整備している。 (※) 稲穂の取扱いに関するマニュアルや取扱いの手順書を作成している。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。	○	問題なし
2: 『稲穂の粒数・百粒等に備る記録の作成』 <安全> 重要 全ての稲穂やワス等の取扱いについて、管理記録等を整備している。 (※) 稲穂の取扱いに関するマニュアルや取扱いの手順書を作成している。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。	△	問題あり
3: 『稲穂の粒数・百粒等に備る記録の作成』 <安全> 重要 全ての稲穂やワス等の取扱いについて、管理記録等を整備している。 (※) 稲穂の取扱いに関するマニュアルや取扱いの手順書を作成している。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。 (※) 稲穂の取扱いに関する記録簿を備えている。	×	問題あり

### <とやまGAPの目的と取組例>

- 【安全な農産物の生産】 農薬・肥料の適正な使用や管理、生産履歴記帳 など
- 【環境の安全】 廃棄物の適正処理、農薬散布後の1週間止水管理 など
- 【農業者の安全確保】 危険箇所の把握、機械の点検・整備、保護具の着用 など

とやまGAP自己点検シート

# ほおぼる幸せ。富山米



【推進目標】 「元気な富山米ブランド」の確立  
～ ほおぼる幸せ。富山米 ～

- 1. 高温に打ち勝つ米づくり ▶ ●うるち米1等比率 90%以上
- 2. 低コストな米づくり ▶ ●移植コシヒカリ面積率 60%
- 3. 「安全・安心」な米づくり ▶ ●水稻直播栽培面積 4,000ha
- ▶ ●「とやまGAP」の実施、生産履歴記帳率100%

平成25年産米は、作柄は作況指数102の「やや良」となったものの、登熟期の高温等による白未熟粒の発生により、品質が低下しました。  
富山米のブランド価値を上げるため、地域の品質低下課題に応じた技術対策を徹底しましょう!